

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス桑名中央		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	工作のバリエーションが豊かであること。	工作の内容については、児童の好きなものを取り入れたり、重複しないように気を付けている。	児童からのリクエストを取り入れる。その児童に合った内容(はさみを使う作業を取り入れる、はさみが危険だと思われる児童はシールを貼る等)を工夫しながら、同じ作品が作成できるようにする。
2	クッキング(昼食・おやつ)を通しての食育。	苦手な食材を敢えて取り入れ、ミキサーにかけて小さくしたり、みんなと一緒に食べることで初めて食べる食材も克服出来るよう支援を行っている。お誕生日会ではケーキ以外にも食べたいものをリクエストしてもらっている。	児童の食べたいもののリクエストを取り入れながら、様々な料理、食材が食べられるよう支援し、保護者様にも喜んでもらえるようにする。
3	保護者様との信頼関係を築くこと。	面談時だけではなく、随時保護者様の相談やお悩みをお伺いしている。いつでも相談出来るよう話しやすい雰囲気作りを行っている。	引き続き、保護者様が相談しやすい雰囲気作りを行う。言いづらい苦情等も話しやすい環境を作る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お出かけが少ない。	児童の人数に対し、職員の人数が不足している日がある。	人員の確保。求人強化。 午前と午後に分けて少人数でのお出かけを検討する。
2	個々の児童に合った支援。	様々な児童が利用している為、活動内容が偏ってしまうことがある。	グループを分けて活動を行ったり、内容を個々に応じて変え、それぞれが満足出来るような内容を検討する。
3	会社や施設で行っている内容が保護者に周知されていない。	契約時には伝えているが、既存の利用者に対しては面談時でのお伝えが抜けてしまっている方もいた。	今後の面談の際に、保護者様に確実に伝える。